# OWL-PCCG-11/12シリーズ　取扱説明書

この度は弊社製品をご購入いただき、誠に有り難うございます。本製品を正しくお使い頂くために本取扱説明書を必ずご一読下さい。また製品に付属しています保証書は、販売店より日付と販売店舗の記入及び押印を頂くか、購入日が証明できるようレシートなどと一緒に大切に保管して下さい。

## １．警告・注意事項

✧ ケース内には尖った部分や鋭利な部分があります。負傷防止のため手袋などを着用して作業してください。
✧ 配線の間違いや、線を金具などで挟みますとショート事故となり、火災の発生原因になる場合があります。
✧ 電子部品は静電気に大変弱い部品です。アースを取るなどして静電気対策を行ってから作業をして下さい。
✧ 電源ユニット付属のACケーブルは、安全規格上その電源ユニット専用のものです。他製品への流用や他製品からの流用はできません。
✧ 本製品は構造材にアクリルを使用している関係上、各部分とも堅牢な構造ではありませんので、移動時などは底面板を両手で持つなど、取扱いには細心の注意をお願いします。また破損防止のため、ネジ類の締め付けトルクは、3Kg/cm（2号ドライバーを使用した場合、指先で軽く締める程度）でお願いします。
✧ 本説明書ではハードディスクドライブを「HDD」フロッピーディスクドライブを「FDD」長さの単位インチを「”」と表現しています。同様にその他の部品などでも略号や通称を使用しています。
✧ 製品の改善などのため、予告なしに仕様の変更や付属品の変更をする場合があります。

## ２．付属品

Owltech
エンブレム

フランジ付き
ミリネジ

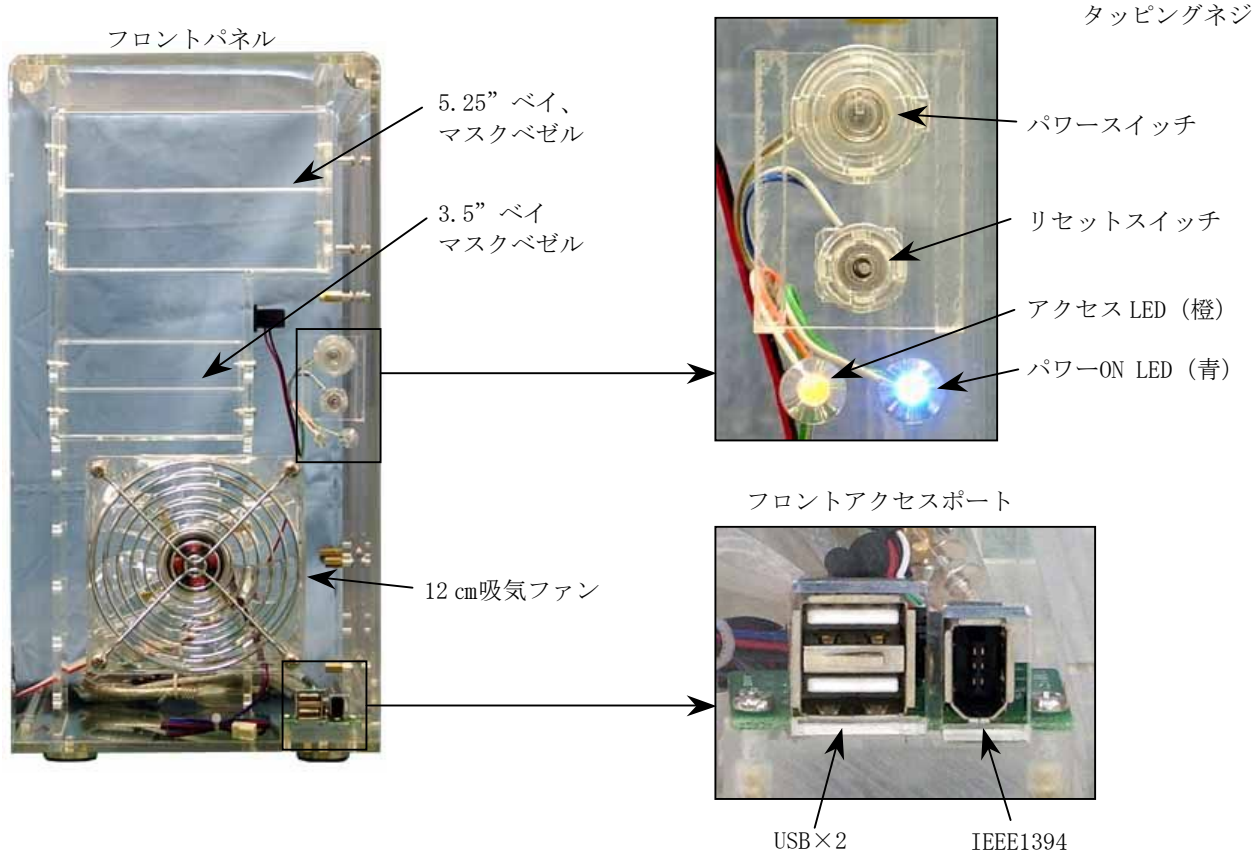
六角スタッド

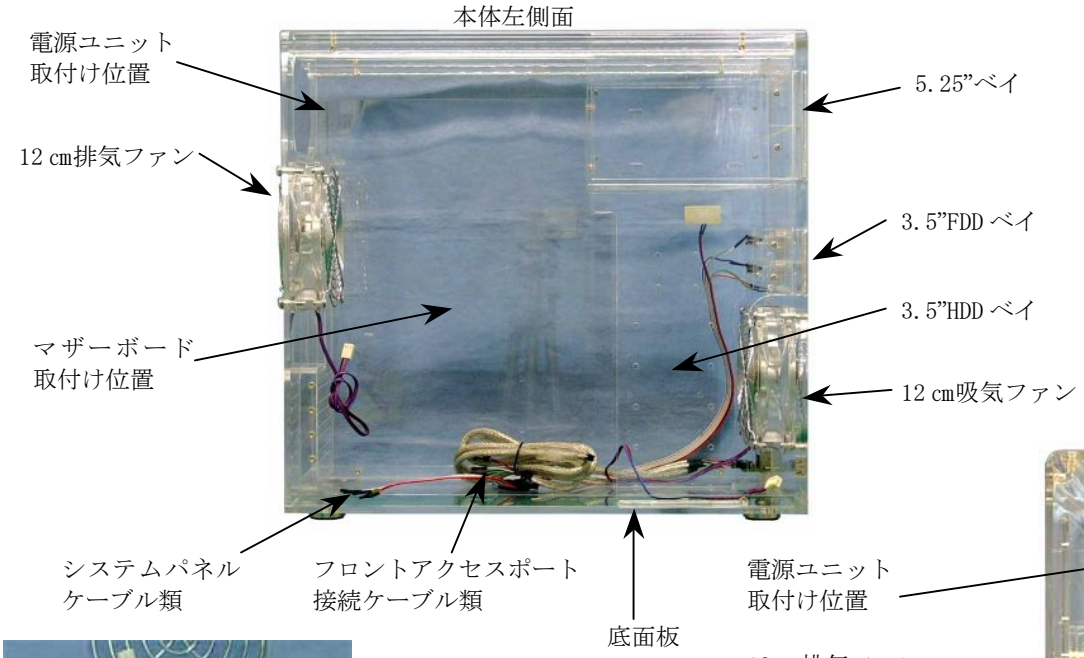
ミリネジ

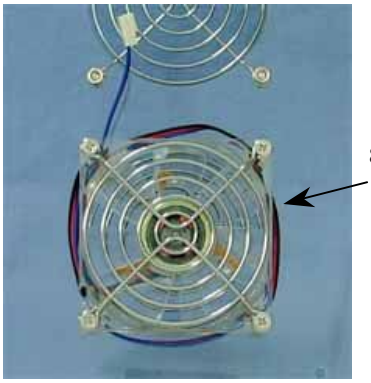
フランジ付き
インチネジ

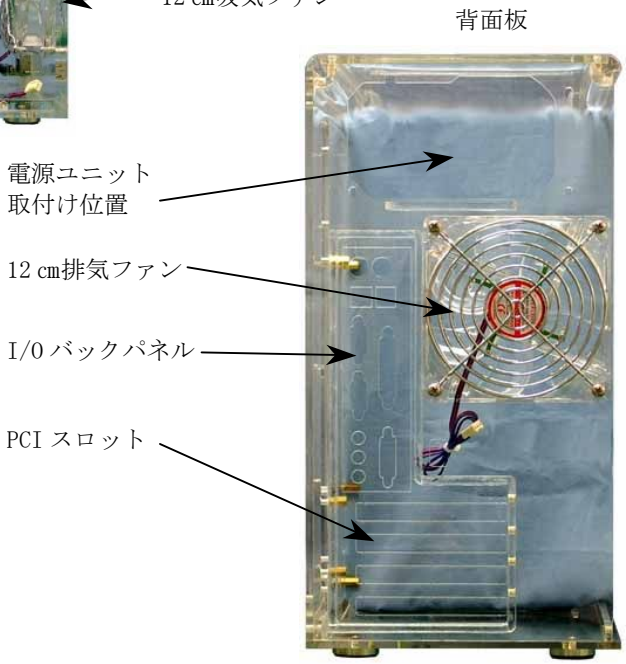
ファン用
タッピングネジ

## ３．各部名称





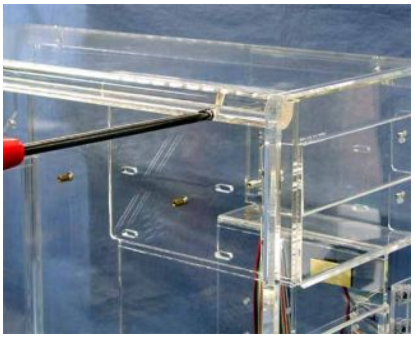




## 4．サイドパネルの取外し方

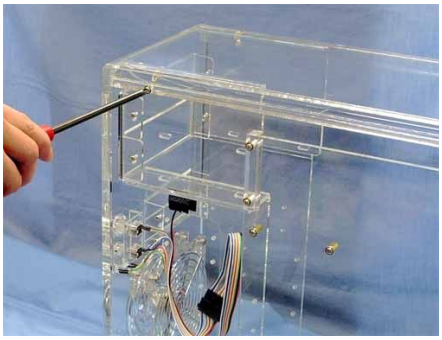
本製品は左右両側のサイドパネルとも、フランジ付きのミリネジで固定されています。

【注意】★本製品にドライブ類を組込む場合、ネジ締めのため両側のサイドパネルを外す必要があります。



①左サイドパネルを固定しているネジ4本を取外します。

②左サイドパネルを取外します。



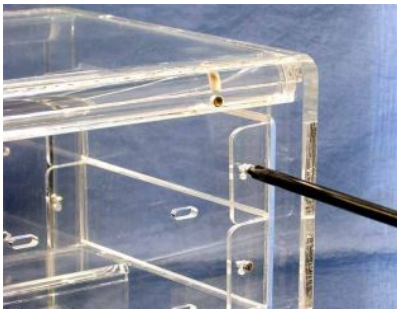
③右サイドパネルを固定しているネジ4本を外します。

④右サイドパネル外します。

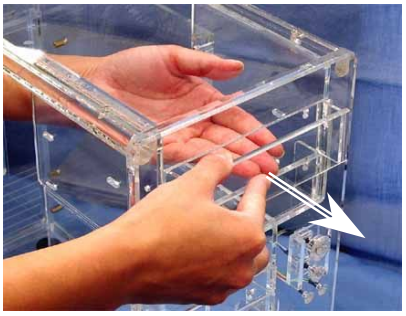
【注意】本製品は構造材にアクリルを使用している関係上、各部分とも堅牢な構造ではありません。特にサイドパネル取外し時は、全体の剛性が弱くなりますので、持ち上げる場合などは底面板を両手で持ってください。上部を持ちますと筐体を破損する恐れがあります。

## ５．マスクベゼルの取外し方

本製品の5.25”ベイに光学式ドライブ類や、3.5”ベイにFDDなどの機器を組込む場合は、作業前にマスクベゼルを取り外す必要があります。



①該当箇所のマスクベセル左右の固定ネジを外します。

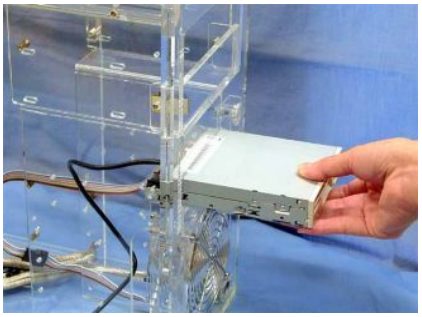


②マスクベゼルを後方より押して前側に外します。

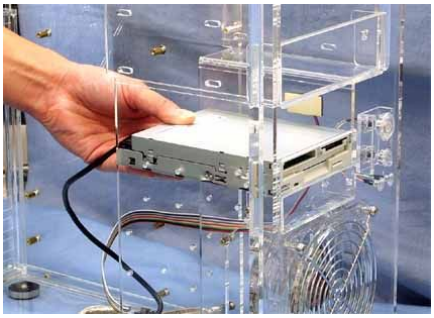
## ６．3.5”FDDの取付け方

本製品には3.5”FDDなどを組込みできるベイが2ベイ用意されております。

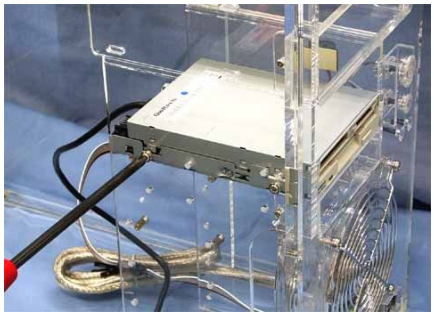
【注意】★3.5”機器全ての適合を保証するものではありません。3.5”機器をお求めの際は奥行などの寸法や、ネジ止め位置の適合を確認してください。



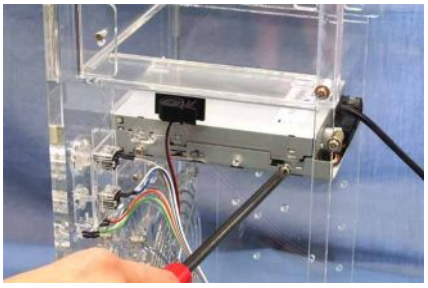
①ドライブを水平に挿入します。



②パネルの位置と合わせ、取付けネジ位置を確認します。



③付属の“フランジ付きミリネジ”で左側2箇所を固定します。



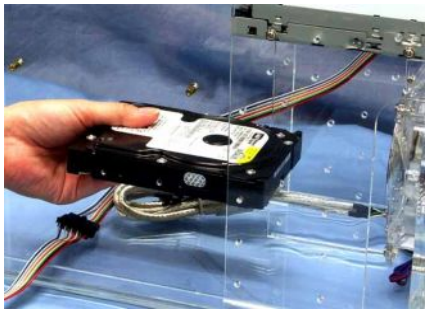
④同じく右側2箇所も固定します。

## ７．3.5”HDDの取付け方（1）

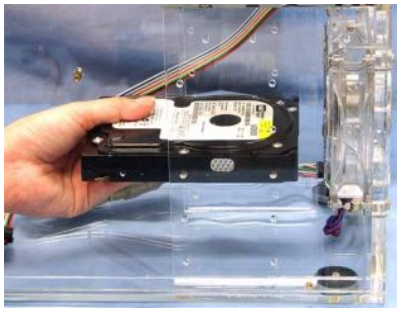
本製品では3.5”FDDベイの下部に、最大5台の3.5”HDDを取り付けることができます。

【注意】★HDDを取り付ける前にドライブのマスター/スレーブの設定（SATAは無用）を必ず行って下さい。

★HDDは精密製品ですので静電気対策をし、振動・衝撃等を与えないように十分ご注意下さい。



①HDDのコネクタ側を手前にして目的のベイに水平に挿入します。



②HDDのネジ穴を見ながら、合う位置まで挿入します。

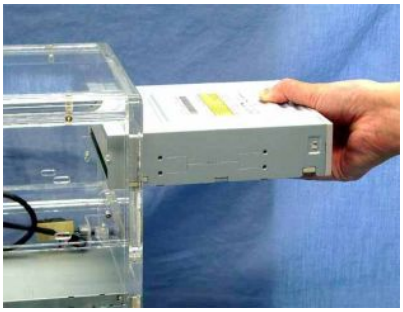
③HDD左右両面を“フランジ付きインチネジ”4本で固定します。

## ８．5.25”ドライブの取付け方

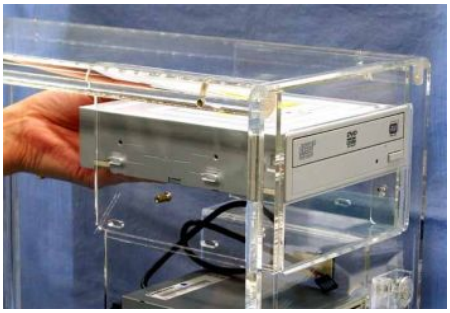
本製品には5.25”機器を2台組込む事ができます。光学式ドライブやモービルラックなど、お好みの機器を組込みください。

【注意】★5.25”機器全ての適合を保証するものではありません。5.25”機器をお求めの際は奥行などの寸法・マザーボードとの干渉や、ネジ止め位置の適合を確認してください。

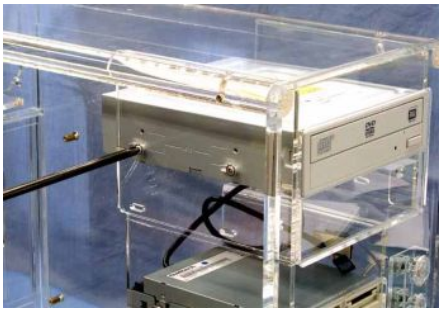
★モービルラックを取付ける場合、ケース内HDDの「マスター/スレーブ」設定を必ず行って下さい。



①ドライブを5.25”ベイに水平に挿入します。



②ドライブ類をパネル位置まで挿入し、ネジ穴位置を確認します。



③付属の“フランジ付きミリネジ”4本でドライブの左右両側を固定します。

## ９．マザーボードの取付け

本製品ではマイクロATX（244×244以下）のマザーボードを搭載することが出来ます。マザーボードの固定には六角スタッドを使用します。六角スタッドは必要な分だけ取付けてください。

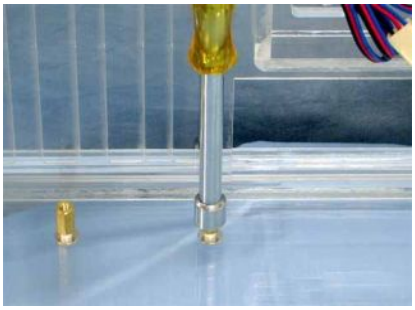
【注意】★マザーボードやアドオンカードを扱う場合、静電気対策を十分に行ってから実施して下さい。

★不必要な部分に六角スタッドを付けないで下さい、ショート事故等を招きマザーボードに重大な故障を引起こすだけでなく、火災などの発生の恐れがあります。

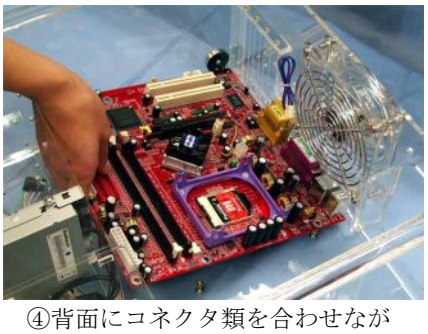
★マザーボード付属I/Oバックパネルは強く押し込む必要があるため背面板破損の恐れがあり、使用されないことを推奨します。もし使用される場合は、マザーボード付属I/Oバックパネルの周囲を小さく・バネを弱く加工し、背面板に力が加わらないようにしてご使用ください。マザーボード付属I/Oバックパネルの圧力による背面板の破損は保証の対象外です。

①I/Oバックパネルがマザーボードと適合しない場合、ナイフなどで慎重に切離します。

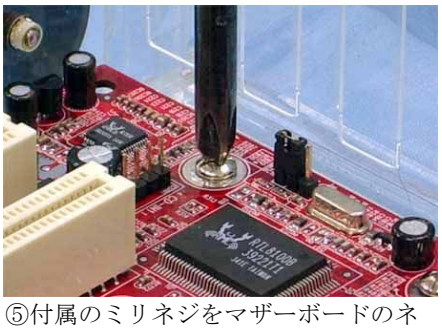
②マザーボードを一旦置いて、取付け用ネジ穴の位置を確認します。



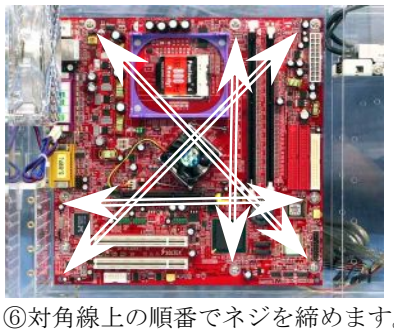
③確認した穴位置に、スタッドをフランジ付きミリネジで取付けます。



④背面にコネクタ類を合わせながらマザーボードを挿入します。



⑤付属のミリネジをマザーボードのネジ穴に仮止め（ネジを入れるだけで締めない）します。



⑥対角線上の順番でネジを締めます。

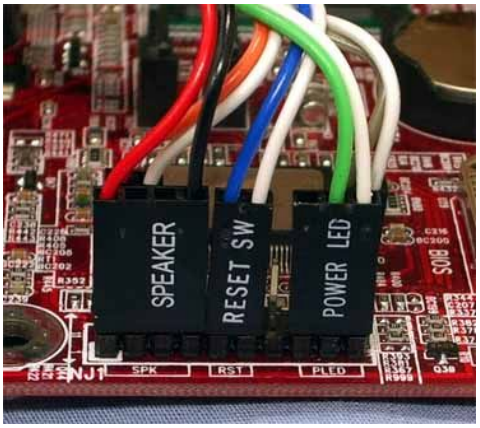
**【警告】**アクリル板の切り離しにはナイフなどの工具が必要です。切離し作業の際、刃物で負傷しないよう手袋をするなど身体の保護を図ってください。

## １０．システムパネルケーブルに関して

フロントパネルに装備されているスイッチ・LEDに接続されているコネクタの説明を行います。
接続先に関しては、ご利用のマザーボードマニュアルを参照して下さい。

●パワースイッチ
極性無し

●アクセスLED
＋：橙
－：白




LEDとスイッチケーブルなどを
マザーボードに接続した例

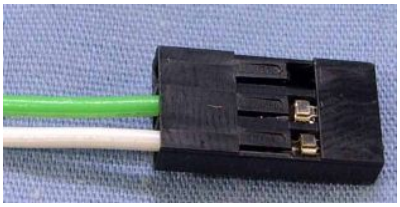
●スピーカー
極性無し

●リセットスイッチ
極性無し

マザーボード上のパワーLED端子が2極の場合、マザーボードのピン形状に合わせ、
どちらかの線を以下の様に、パワーLEDコネクタへの配線位置を替えてください。

●パワーLEDコネクタ
＋：緑
－：白

ストッパーを少しだけ持ち
上げながら線を抜きます。

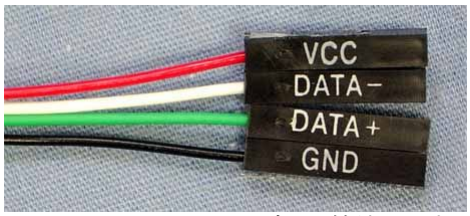


抜いた線を中央部に差
し込みます。

## １１．フロントパネルアクセスポートに関して

本製品のフロントパネルにはUSBポート×2、IEEE1394ポート×1、が装備されております。

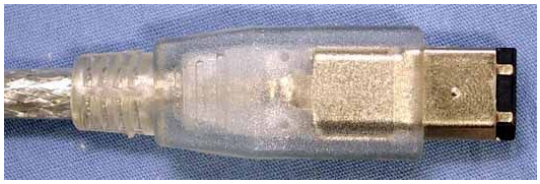
【注意】★接続の際にはマザーボード付属のマニュアルを確認して接続して下さい。
★USBフロントポートはマザーボード又は拡張ボード（PCIカードなど）に接続ピンヘッダーが無い場合は使用できません。
★IEEE1394フロントポートは、拡張ボード（PCIカードなど）やマザーボードに、IEEE1394ジャックが無い場合は使用できません。

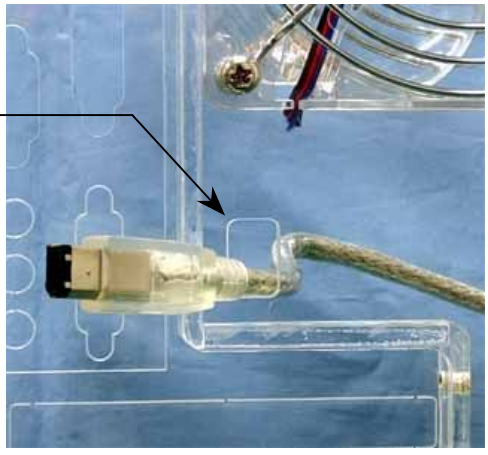



●4ピン・USBピンヘッダーに接続します。

| 表記 | 内容 | 他での呼称 |
|---|---|---|
| VCC* | 電源ライン | PWR, POWER |
| USB*－ | データ－ | D-, DATA-, LDM* |
| USB*＋ | データ＋ | D+, DATA+, LDP* |
| GROUND | グランド | GND, COMMN |

● 背面PCIスロット上の角穴を通して、
PCIカードやマザーボードI/Oポートの
IEEE1394ジャックに接続します。

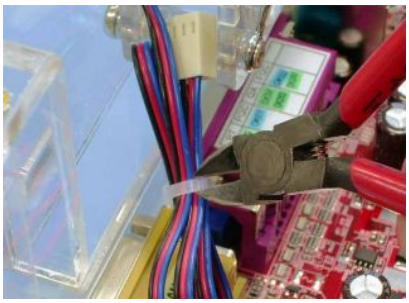




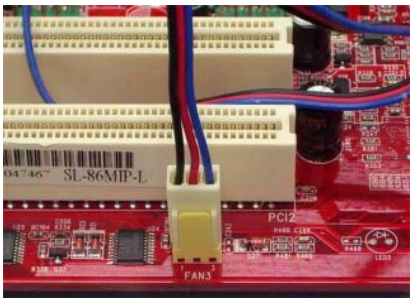
## １２．ファンについて

### １２－１．ファンの配線

【注意】本製品には3基のファンが装備されているため、マザーボード側のファン用コネクタが不足する場合もあります。不足する場合は市販の“4Pペリフェラルコネクタ→ファンコネクタ変換ケーブル”をDOS/Vパーツ店等でお求めの上、電源ケーブルに接続して使用してください。

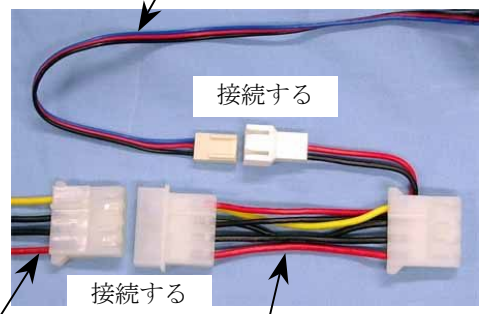


①ファンケーブルを束ねているインシュロックを切断します。




②マザーボード上のファンコネクタに接続します。

※ファン変換ケーブルを使用する場合の接続方法




電源ユニットより引出されている電源ケーブル

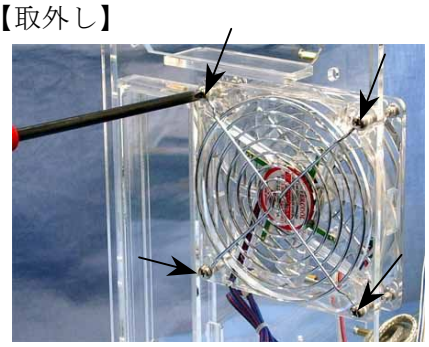
市販のファン変換ケーブル（写真は一例、形状は各種各様があります）

### １２－２．ファン交換について

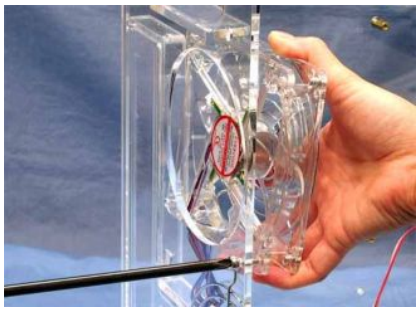
本製品は正面に12cm吸気・背面に12cm排気・左側面に8cm吸気ファンが装備されております。ここでは背面排気ファンの交換方法を説明致します。正面吸気ファン及び左側面排気ファンは、背面排気ファンの交換方法に準じて作業してください。

【注意】★自作パソコンの温度管理はお客様の責任です。CPUや各種部品の発熱が多い場合は、強力なファンに交換するなどの対応が必要です。冷却能力を超えた過熱による故障などは保証の対象外です。
★雑音や故障の原因となりますのでファンの中心部を押したり、羽を指で回したりしないで下さい。
★冷却性能を保つため定期的にファンのメンテナンスを実施して下さい。なお、ホコリ除去などを掃除機で行う場合、羽が回転しないよう固定してください。掃除機の吸気で羽を回す事は雑音や故障の原因となります。

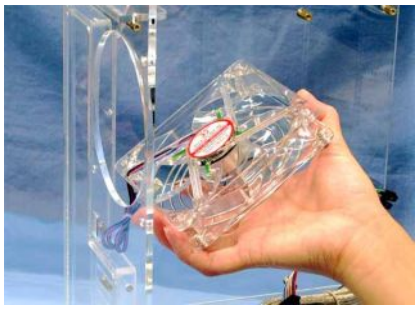
【取外し】



①矢印４カ所のタッピングネジを外します。

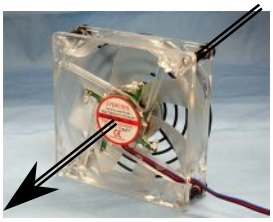


②最後のネジを外す時は、ファンが落下しないように押さえます。

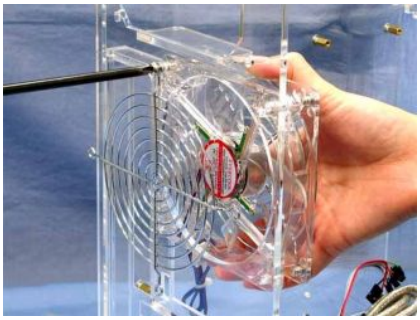


③すべてのネジを外したらファンを取出します。

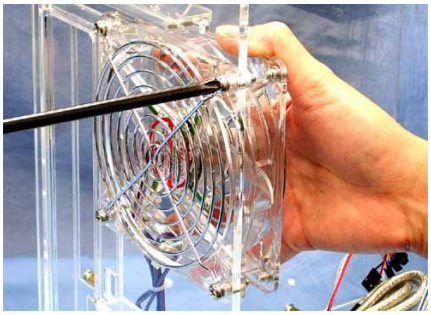
【取付け】



①ファンの風向きを確認します。
（本製品付属のファンには風向の表示はありません。ラベルが貼ってある側に風が出て来ます）



②ファンを手で保持しながらタッピングネジで仮固定します。



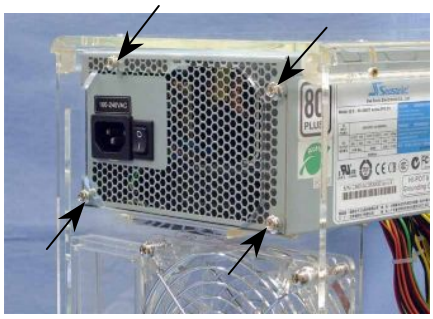
③必ず対角線上の順番でネジを締めます。

## １３．電源ユニットの取付け

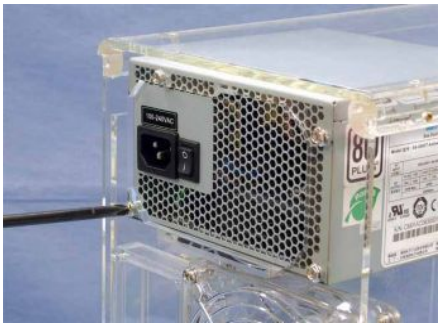
本製品には電源ユニットが付属しておりませんので、ご自分で作製されるPC環境に合ったATX規格の電源ユニットをお求めの上、下記の手順で組込みをしてください。電源の不具合やメンテナンスのために電源ユニットを交換する場合も下記の手順に準じて作業を行って下さい。

①電源ケーブル類をまとめて、他のパーツに注意しながらケースに挿入します。

②電源ユニットを背面板に密着させ、手を添えながら、背面部のネジ位置の確認をします。



③矢印の“フランジ付きインチネジ”４本を仮止め（ネジを入れるだけで締めない）して、線の挟み込みが無いか確認します。



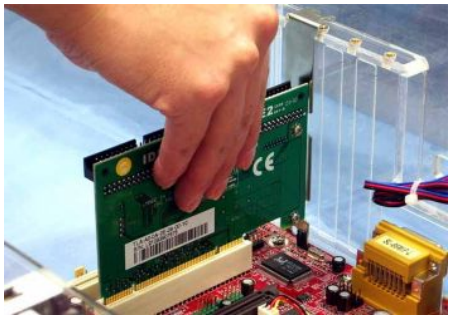
④線の挟み込みが無い事を確認したら、ネジを締め付けます。

【注意】
★電源ユニットの作業を行う場合は、必ず電源コンセントを抜いてから作業を行って下さい。

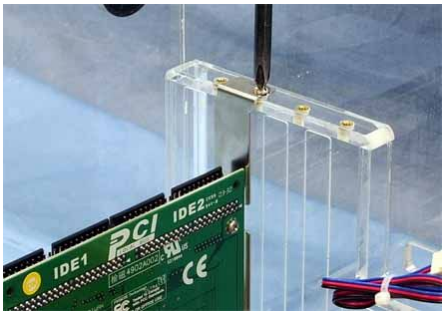
## １４．PCIボードなどの取付け

本製品PCIスロットへのPCIカードなどの組込みを説明します。

①該当箇所のアクリル板を、ナイフなどで慎重に切離します。



②PCIボード類を取付けます。




③付属のミリネジで、PCI金具を固定します。

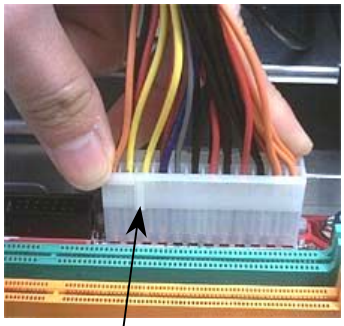
**【警告】**アクリル板の切り離しにはナイフなどの工具が必要です。切離し作業の際、刃物で負傷しないよう手袋をするなど身体の保護を図ってください。

## １５．直流出力電源コネクタの説明

電源ユニットからは、各種の2次側直流出力ケーブルが出ていて、その先には電源コネクタがついております。所定の場所にコネクタの向きを確認の上、接続してください。

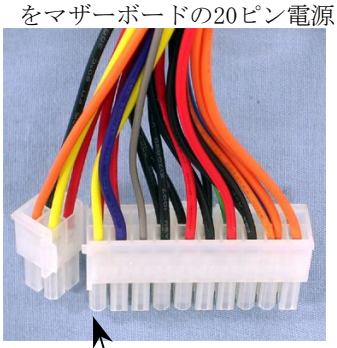
以下の説明は弊社販売の電源ユニットを対象にしていますが、弊社販売品でもモデルにより、コネクタ形状・色や数量などが異なります。
他メーカーの電源ユニットにつきましては、そのメーカーにご確認願います。

【マザーボード用　20＋4ピン コネクタ】
マザーボードの24ピン電源コネクタに挿入します。
20ピン部分と4ピン部分の双方を押すようにしてください。

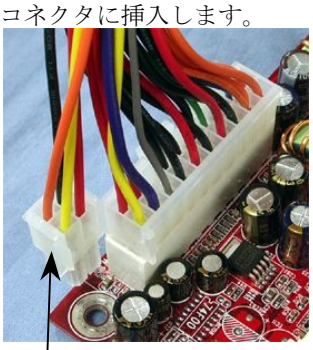


20+4ピン結合部分

マザーボードが20ピン電源コネクタで、余る4ピン側が他の部品などに接触しない場合。
結合部分を外すと4ピン部分が開きますので、20ピン部分をマザーボードの20ピン電源コネクタに挿入します。

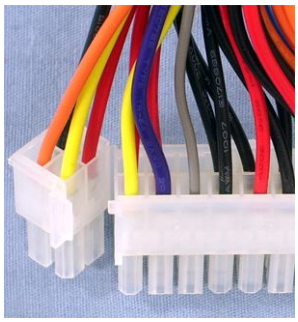


結合部分を外すと
4ピン側が開く。

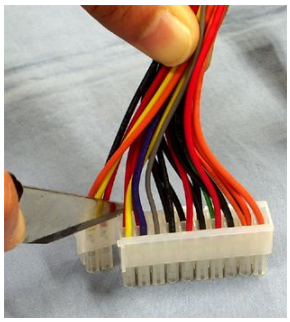


余る4ピン側が他の部品
などに接触しない場合。

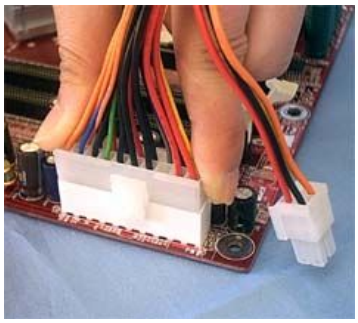
マザーボードが20ピン電源コネクタで、余る4ピン側が部品などに接触する場合。



結合部分を外し、4ピン
部分を開きます。



ナイフなどで4ピンと20ピン
の接続部分を切断します。

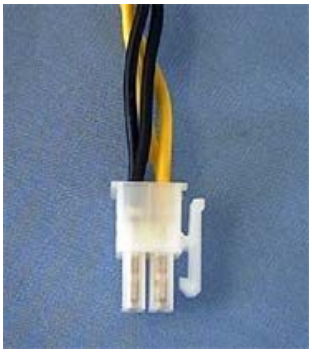


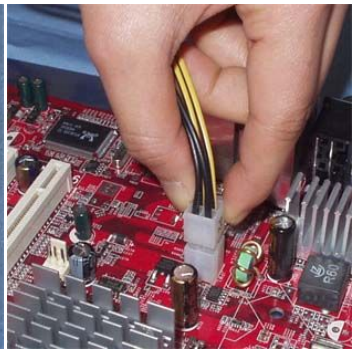
20ピン部分をマザーボードの20ピン
電源コネクタに挿入します。

**【警告】**20＋4 ピンコネクタの切り離しにはナイフなどの工具が必要です。切離し作業の際、刃物で負傷しないよう手袋をするなど身体の保護を図ってください。

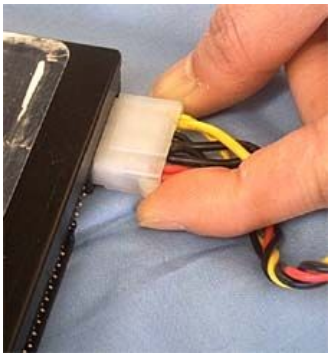
**【注意】**余分なコネクタ及び、切り離して使用しないコネクタは、尖った物などに中芯ピンが接触しないよう固定するか、絶縁テープなどで保護してください。

【 ATX12V 4ピン電源コネクタ】
マザーボード上の ATX12V 電源コネクタに挿入します。





【ペリフェラル4ピン電源コネクタ】
HDD、CD-ROM 等の電源コネクタに接続します。



**【警告】**各コネクタは、逆挿し（裏返し）や、ずれ挿しをしないよう注意してください。
誤挿入を防止するためコネクタの形状は工夫されていますが、材料がプラスチックのため、強く押す事で、逆さでも挿入できてしまう場合があります。
また、電気的に接続してはいけない場所でも、接続できてしまう場合がありますので、コネクタの機能と接続先の機能を、各機器のマニュアルなどで確認の上、接続してください。
誤接続、逆挿しやずれ挿しをしますと、各機器の故障だけでなく火災の発生原因になります。

**写真は FDDへの接続不良例です。**
製品により位置や向き、形状が違います。

逆挿し（裏返し）

ずれ挿し（横ずれ）

【ミニ４ピン電源コネクタ】
フロッピーディスクドライブ、USBベイ等の電源コネクタに接続します。

【 S-ATA 電源コネクタ】
S-ATA HDD に接続します。

【 ATX12V 8ピン電源コネクタ】
マザーボード上の ATX12V 8ピン電源コネクタに挿入します。

【 PCI EXPRESS 6ピン電源コネクタ】
PCI EXPRESS ボード上の 6ピン電源コネクタに挿入します。

## パソコンケースで困ったときは？

パソコンケース組立て時にご不明な点が有り下記の問題点と同じ場合は、該当致します項目をご確認願います。

**Q：電源が入らない。**

A：①電源ケーブルを奥まで接続していますか？電源タップを使用している場合はタップの確認をして下さい。
②電源ユニットにスイッチがある場合は、スイッチの確認をして下さい。「○」がOFFで「－」がONになります。
③パソコン本体にあるパワースイッチコネクタをマザーボード上の正しい位置に接続していますか？

**Q：電源は入るが画面に映像が映らない。**

A：①モニターの電源を「オン」にしていますか？
②パソコン本体に接続するVGAケーブルを間違えた場所に接続していませんか？
③「ビープ」音が鳴っている場合は、周辺機器(CPU・M/B・メモリー等)に異常が発生していますので周辺機器をご確認して下さい。

**Q：ケースに搭載されているLEDやスイッチ類の配線方法が良く分かりません。**

A：各スイッチ類には極性が有りませんので、どちら向きに接続しても問題はありません。
LEDには極性があります。弊社の付属ケーブルでは「白又は黒」がマイナス(GND)側になります。
また、フロントにUSBポートが付属している場合、その付属ケーブルはマザーボード上のUSBピンヘッダーに接続して下さい。信号名はマザーボードメーカーにより名称が異なりますのでマザーボード付属のマニュアルにてご確認願います。

**Q：ケースに搭載されている電源を交換することは可能ですか？**

A：ATX規格の電源はメーカー問わず規格で統一されていますので交換をすることは可能です。
ただし、ATX12V Ver1.3からは-5Vの電源ラインが削除されておりますので型番の古いマザーボード等では正常に動作しない場合が有りますのでご注意ください。（ISAバス搭載M/B等）

**Q：マザーボードの取付け位置が合わない。**

A：マザーボードは背面のI/Oパネル部分を先に差込み、所定の穴位置に合わせます。ネジで固定する場合は、最初の1本目から本締めすると2本目からのネジ位置が合わなくなるので全てのネジを仮止めしてから本締めを行って下さい。また、ネジは対角線上の順番に締め付けをして下さい。

**Q：FDDやHDDを固定するネジは？**

A：通常、FDDやCD-ROMを固定するネジはミリネジを使用します(ねじ山の間隔が狭いネジ)。
また、HDDを固定する場合はインチネジを使用します(ねじ山の間隔が広いネジ)。

**Q：マザーボードのI/Oパネルとケースの I/Oパネルの形状が異なります。**

A：I/Oバックパネルは交換可能です。ケースに付属しているI/Oバックパネルの取外し、マザーボードに付属しているI/Oバックパネルの取付けは、本マニュアルを参考にして下さい。また、取付ける場合はエッジに鋭い部分が有りますので交換の時は、ケガをしないよう十分注意して作業を実施して下さい。

**Q：PCI拡張スロット全てに拡張カードを接続してもOKですか？**

A：システムが不安定になる場合が多いので、AGPカードを差す下にあるPCIバスと一番下にあるPCIバスにはなるべくカードを接続しないほうが良いと思います。

**Q：マザーボードのFANコネクタが少なくてケースに搭載されているFANを使用する事が出来ません。**

A：FANコネクタが少ない場合は、DOS/Vパーツ専門店にて電源から供給しFANを回すことが出来る変換ケーブルが発売をされているので別途、購入し使用して下さい。

**Q：ケースに付属していた部品を紛失してしまいました。パーツを購入することは可能ですか？**

A：保守パーツを購入することは可能です。ただし数に限りがございますので場合によっては保守パーツを購入することが出来ない場合もございますので何卒ご了承ください。（保証書の確認が必要になります）

その他、ケースに関しましてご不明な点がありましたら弊社サポートセンター迄ご連絡をお願い致します。

Owltech